

5 年	6 令7 理科	【大日本】 6 流れる水のはたらきと土地の変化 P 80～101 【東 書】 6 流れる水のはたらき P 72～93	名	組	番	評 点	■知・技	思・判・表
			前					

《全問各5》

《45》

【1】 下の図は、同じ川の2つの場所の川原のようすです。次の問いに答えなさい。



(1) Aの図のような石が見られるのは、次のア・イのうちどちらの場所か、記号を書きなさい。

ア 山の中を流れる川 イ 平地を流れる川

(2) A, Bそれぞれの場所の、川原の石の大きさと特ちょうを書きなさい。

(3) Aのような石になるのはなぜか、「流れる水のはたらきによって、」という書き出しに続けて理由を書きなさい。

(4) 流れる水が地面などをけずるはたらきを何というか、書きなさい。

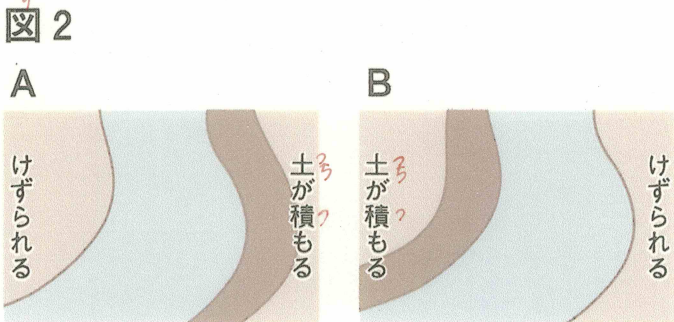
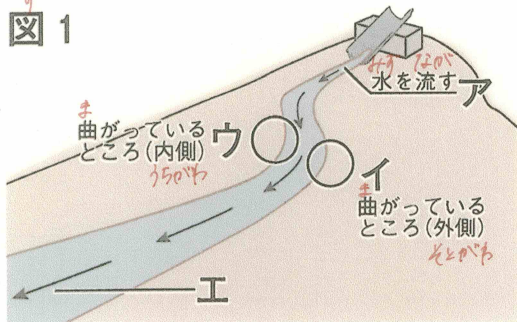
(5) 流れる水が土や石などを運ぶはたらきを何というか、書きなさい。

(6) 流されてきた土や石などを積もらせるはたらきを何というか、書きなさい。

(1)	
(2)	A 大きさ 特ちょう
(2)	B 大きさ 特ちょう
(3)	流れる水のはたらきによって、
(4)	
(5)	
(6)	

【2】 雨がふり続いたり、台風などで大雨がふったりしたときの川の様子について、次の問いに答えなさい。

《45》



(1) 大雨がふると、川の水の量はどうか、書きなさい。

(2) 大雨がふると、川の流れる速くなります。図1は、流れる水のはたらきを調べる実験をしたときのようすを表しています。図1のアとエでは、どちらの水の流れが速いか、記号を書きなさい。

(3) 図1の曲がっているところの水の流れの速さを比べました。イとエではどちらの水の流れが速いか、記号を書きなさい。

(4) 図1で水を流して土のようすの変化を調べました。曲がっているところのイとエのようすは、図2のA, Bのどちらか、記号を書きなさい。

(5) 図1で流す水の量が増えたとき、水の流れや土のようすに変化がみられるかどうかを調べました。次の①～⑤のうち、正しいものには○、正しくないものには×をつけなさい。

- ① アの部分がさらに大きくけずられ、深さがより深くなった。
- ② イに土が積もるようになった。
- ③ イの水の流れが速くなり、より大きくけずられた。
- ④ エにより多くの土が運ばれてきた。
- ⑤ 流す水の量が増えても、水の流れや土地のようすに変化はみられなかった。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	①
	②
	③
	④
	⑤

【3】 写真は、大雨がふったときに川が曲がっているところの外側で起きた災害のようすです。次の問いに答えなさい。

《10》

(1) このような災害が起きることを防ぐために、どのような取り組みを行うことが必要か、1つ書きなさい。

(2) こう水への備えとして、わたしたちができることを1つ書きなさい。

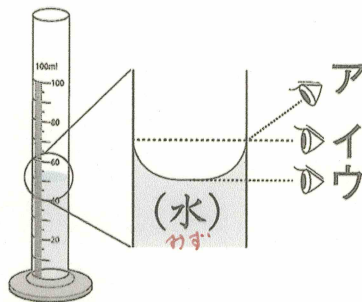


(1)	
(2)	

5 年	7 令7 理科	【大日本】 7 もののとけ方 P102~123 P184	名	組	番	評	点	■知・技	思・判・表
		【東 書】 7 物のとけ方 P94~113 P161						/40	/60

【1】 50mLの水をはかりとり、食塩やミョウバンを加えていき、とける量を調べました。次の問いに答えなさい。 《全問各5》
《45》

- (1) 右の図のようなメスシリンダーを使い、水50mLをはかりとります。下の文はその方法を説明したものです。()にあてはまる言葉を書きなさい。ただし、Cは図のア～ウの中から選び、記号を書きなさい。



- メスシリンダーを(A)などところに置く。
- 「50」の目盛りよりも少し(B)のところまで水を入れる。
- (C)の位置から液面を見ながら(D)を使って水を少しずつ入れ、液面を「50」の目盛りに合わせる。

- (2) 水に食塩やミョウバンがとけたとうめいな液体のことを何というか、書きなさい。
- (3) この実験の結果を下の表にまとめました。

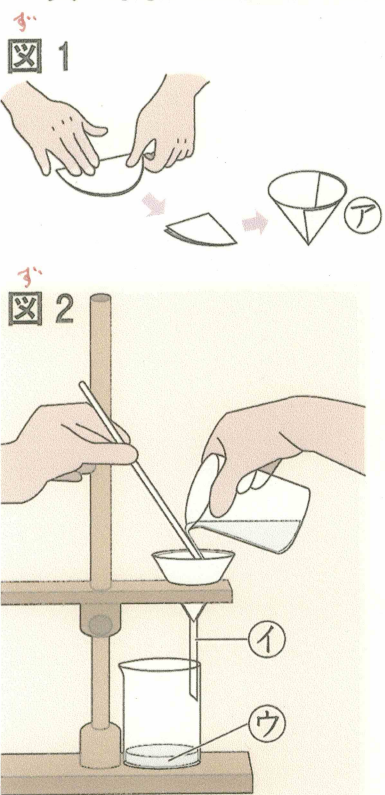
水50mLにとけた食塩とミョウバンの量		○とけた ×とけ残る			
加えた重さの合計	5 g	10 g	15 g	20 g	
食塩	○	○	○	×	
ミョウバン	○	×			

この実験からいえることを下の文にまとめました。正しいものには○、正しくないものには×をつけなさい。

- ① ものが水にとける量には、かぎりがある。
- ② ものの種類によって、水にとける量にちがいはない。
- ④ とけ残ったミョウバンをとかす方法を2つ書きなさい。

(1)	A	
	B	
	C	
	D	
(2)		
(3)	①	
	②	
(4)		

【2】 水にミョウバンを入れてかき混ぜたところ、ミョウバンがとけ残りしました。次の問いに答えなさい。



- (1) とけ残ったミョウバンと液体を左の図1, 2のようにして分けました。㊦と㊩の名前を書きなさい。
- (2) 図2のように液体をこして、混ざっている固体をとりのぞくことを何というか、書きなさい。
- (3) ㊩のとうめいな液体には、ミョウバンがとけています。とけているミョウバンをとり出す方法を、次のア～エの中から2つ選び、記号を書きなさい。
ア 液体をじょう発させる。
イ 40℃の湯につけて液体の温度を上げる。
ウ 氷水につけて液体の温度を下げる。
エ ふたをしてはげしくふり混ぜる。
- (4) 食塩でも同じ実験を行いました。とけている食塩をとり出す方法として、より適した方法を、(3)のア～エの中から選び、記号を書きなさい。
- (5) 水にとけている食塩やミョウバンをとり出すときに、保護めがねを使う理由を書きなさい。

(1)	㊦	
	㊩	
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		

【3】 次の文の説明として正しいものには○、正しくないものには×をつけなさい。

- (1) 100 gの水に10 gの食塩をすべてとかした液体の重さは、110 gより軽くなる。
- (2) コーヒーシュガーをとかしたとうめいな茶色の液体は、色がついているので水よう液とはいえない。
- (3) コーヒーシュガーを水にとかしてかき混ぜて、しばらく時間がたつと、下の方が色がこくなり上のほうがうすくなる。
- (4) ものの種類によって水の温度を上げてもとける量があまり変わらないものもある。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	